

教育研究上の目的

健康栄養学科は、栄養学を基礎として、食・運動・教育に関する専門的知識や技術、指導力、実践力を習得することにより、健康のスペシャリストとしてすべての人々の健康生活のための学びと実践を支え、推進できる人材を育成することを教育研究上の目的とする。

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

健康栄養学科では、教育研究上の目的を達成するため、次の学生像を人材育成の方針とする。

1. 栄養士として食・運動・教育に対して深い知識を持ち、社会の健康づくりに貢献できる
2. 健康の維持増進および疾病予防のための運動を指導できる
3. 協調性を重んじ、自ら問題を掘り起こし解決できる能力を持つ

そのうえで、次の資質および能力を有している者に「学士（栄養学）」の学位を授与する。

①知識・理解・技能（技法）

1. 栄養士として必要な、人体の構造と機能・栄養・食物に関する基礎的知識および技能を身につけている
2. 栄養士の基礎的知識と技能を利用して健康維持および疾病予防の指導ができる
3. 人体の構造と機能を理解し、健康づくりのための運動に関する基礎的知識および技能を身につけている
4. 運動に関する基礎的知識を利用して健康づくりのための運動の指導ができる
5. 個々の事例についての的確な健康面のアセスメントができ、適切な指導のできる技能を身につけている

②思考・判断・表現

1. 食・運動・教育に関わる情報を収集し、科学的な根拠をもとに的確に判断、評価できる能力を有する
2. 健康に関わる問題に対して論理的に思考し、栄養指導、運動指導を行うことができる
3. 自分の考えをもとに自己を表現するとともに、他人の考えに協調し、相互理解する能力を有している

③関心・意欲・態度

1. 常に健康に関心を持ち、意欲的に学び続けることができる
2. 広い視野を持って社会の変化を迅速に捉え、健康に関する問題点を的確に把握し、よりよい解決策を立案することができる
3. 健康のスペシャリストとしての自覚を持ち、使命感を持って、自ら考え行動できる

教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

健康栄養学科では、栄養士養成を基盤とし、そのうえで、食、運動、教育の各分野で活躍できる人材育成のためのカリキュラムを編成する。

1. 初年度教育として、健康のスペシャリストとしての動機づけと意識を高めるための学科基礎科目を配置する
2. 栄養士養成については、栄養士に必要な基礎的知識と技術の習得を重視し、実験・実習科目、学外実習を充実させることで実践力を高める

3. 食・運動・教育の領域において多様な科目を展開し、社会の健康づくりに貢献できる知識と技能を養う
4. キャリア実現に向け、コミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を習得のための教育・指導を展開する

各領域の学修過程は、次の通りとする。

◆学科基礎

1. 専門分野に関わる基礎知識および技術を講義により修得し、健康のスペシャリストの意義を理解する
2. 基礎知識や技術をもとに最新の健康に関わる情報を収集し、統計的手法を用いた情報の分類、解析方法を学ぶ
3. 自分の考えをもとに自己表現するとともに、他人の考えに協調し、相互理解するための能力を演習などのディスカッションを通して修得する

◆栄養・食生活領域 社会生活と健康

1. 栄養士として必要な公衆衛生や社会福祉に関する基礎的知識および技術を講義により学ぶ

◆栄養・食生活領域 人体の構造と機能

1. 栄養士として必要な生理学・生化学の基礎的知識および技術を講義により学ぶ
2. 講義で学んだ生理学・生化学の基礎的知識および技術を実験実習により深く理解する

◆栄養・食生活領域 食品と衛生

1. 栄養士として必要な食品および食品の衛生管理に関する基礎的知識技術を講義により学ぶ
2. 講義で学んだ食品および食品の衛生管理に関する基礎的知識および技術について実験実習により理解を深める

◆栄養・食生活領域 栄養と健康

1. 栄養士として必要な栄養に関する知識および技術について基礎から応用まで講義により学ぶ
2. 講義で修得した知識や技術を実験実習により体系的に理解し、実践力を養う

◆栄養・食生活領域 栄養の指導

1. 栄養士として栄養指導を行うために必要な基礎的知識を講義により学ぶ
2. 栄養士として栄養指導に必要なコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を実習により修得し、実践力を養う
3. 個々の事例についての的確な栄養アセスメントができ、適切な指導のできる技能を実習を通して修得する

◆栄養・食生活領域 給食の運営

1. 栄養士として給食運営に必要な基礎的知識および技術を講義により修得する
2. 栄養士として必要な給食運営を実習により体験し、基礎的知識および技術を実験実習により理解し、実践力を養う
3. 学外での実習を体験することにより、栄養士としての使命感を持ち、自ら考え行動できる能力を養う

◆栄養・食生活領域 食文化・食ビジネス

1. 健康のスペシャリストとして食を多角的にとらえるための知識や方法論について講義により学ぶ
2. 食に関する社会の問題点やニーズを的確に把握するための技法について講義により学ぶ

◆健康支援領域

1. 健康に関する問題に対して論理的に思考するための知識と技術を講義により修得する
2. コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を学外施設実習により修得し、実践力を養う

◆健康運動領域

1. 健康のスペシャリストとして必要な運動技能を実技により修得する
2. 健康と運動と関連性についての情報を収集し、科学的な根拠をもとに的確に判断、評価できる能力を演習により修得する

◆教育領域

1. 栄養学を基礎として食・運動の教育、指導に関する基礎的知識および技術を講義により学ぶ
2. 教育、指導に関する基礎的知識及び技術を生かし、健康面での適切な指導ができる能力を演習でディスカッションを行うことで高める

◆演習

1. 文献検索の方法を修得する
2. 科学論文の読み方を修得する
3. レポートの作成方法を修得する

◆卒業研究

1. 実験計画を立案する
2. 実験を実施する
3. 実験結果を取りまとめ、発表する

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

健康栄養学科では、次のような学生を求める。

1. 食・運動・教育に強い関心を持っている
2. 科学的思考ができる
3. 食・運動を通して社会の健康づくりに貢献したいという意欲がある

また、入学後の学修の基盤として、次の知識や能力が求められる。

①知識・技能

1. 高等学校までの基礎的学力を有している
2. 化学基礎または生物基礎の基礎的な知識を習得している
3. 文章で表現する力を有している
4. 基礎的計算力を有している

②思考力・判断力・表現力

1. 資料（文章・データ等）から課題や問題点を発見できる
2. 科学的思考に基づいて問題点に対する解決策を文章で表現できる
3. 質問に対して的確に答えることができる

③主体性・多様性・協働性

1. 課題に対して自分で考え、行動することができる
2. 集団の中で他者の意見を共感、理解しながら物事をまとめることができる
3. 集団の中で他者と協働して取り組むことができる